

電気用品別安全チェックポイント

コード

- ① 傷んでいませんか？

チェック ☐

電源コードの被覆が傷んでいたり、古くなってひび割れたりしていませんか。傷んだコードは漏電やショート（短絡）による火災の原因になります。新しいものと交換しましょう。

- ② 固定して使用していませんか？

チェック ☐

ビニールコードは傷みやすく、釘やステップルなどで固定すると、断線や過熱の原因となり危険です。テーブルタップなどのビニールコードを、固定して使用することはやめましょう。

- ③ 束ねて使用していませんか？

チェック ☐

コードを束ねたり巻いた状態で使用すると、熱がこもり過熱するおそれがあります。コードを束ねずに伸ばして使用しましょう。

- ④ 家具などに踏まれていませんか？

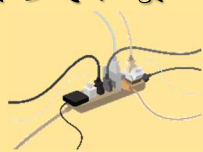
チェック ☐

コードが家具などの重量物に踏まれていませんか？見た目には損傷がなくても、芯線が半断線していることがあります。その場合、本来流すことができる電流を流せずに、過熱やショートにより火災の原因となるおそれがあります。ドアに挟んだり、強く曲げたりしたコードも同様に、芯線が半断線している可能性があります。コードを踏んだり、挟んだりしないように気をつけましょう。

プラグ・コンセント

- ① たこ足配線になっていませんか？

チェック ☐



コードやテーブルタップには、安全に使用できる電流が決められており、これを超えて使用すると、コードが過熱して火災の原因になることがあります。テーブルタップには、使用できる電流やワット数が記載されていますので、確認してください。

- ② プラグがコンセントから抜けかかっていませんか？

チェック ☐

抜けかかった状態で使用していると、接触不良によって過熱したり、金属製のものが触れてショートしたりして、火災に至るおそれがあります。抜けかかっていたプラグがあったら、しっかりと奥まで差し込みましょう。

- ③ ホコリが溜まっていませんか？

チェック ☐



家具や大型家電の裏などに隠れたコンセント。長い間プラグを差し込んだままにしておくと、塵やホコリが溜まり、そこに湿気が加わると、突然発火することがあります。プラグを抜いて乾いた布などで清掃しましょう。

- ④ コンセントが破損していませんか？

チェック ☐

コンセントのプレートが割れるなど、破損した状態のまま使用していると、感電やショート可能性があります。これらの修理ができるのは、第二種電気工事士などの国家資格を取得している人に限られています。電器店や電気工事店などに相談しましょう。